

2002年夏

# 沼津アルプス



9月1日(日)念願の、暑い夏の「沼津アルプス」に行くことができました。8月11日(日)に予定していたのですが、提案者の河合稔さんの都合がつかず、翌週に延期。さらに、18日(日)は雨のため中止となってしまいました。

ところが、この日はアクシデントが続出！まず、小田急線が踏み切り事故のため、本厚木から先が不通。相模大野で江ノ島線に乗り換えて、藤沢経由で沼津へ向かうことに。次に、登山口を間違えて、奥沼津アルプスを探検してしまいました。このため、ショートカットするはずの大平山で昼食、ここから、せめて富士山の展望がすばらしい徳倉山までを目指したのですが、水不足に陥り、その手前の志下峠から下山してしまいました。さらに、もうひとつ、みんな疲れていたのでしょうか(?)転倒者続出！町田も転倒して、その際にデジタルカメラを破損してしまい、写真は大平山までとなっています。

でも、誰もけがなどせずに、無事沼津港の寿司屋にたどり着くことができました。つまり、この日の目的は達成されたのです。「終わりよければ全てよし」ということにいたしましょう！



## 小田急線が不通

9月1日(日)朝7時、小田急線町田駅には、今回の企画に賛同した方々が次々と現れました。宮部忠和さん、河合稔さん、小野勝彦さん、加藤忠さん、加藤純代さん、横山和明さん、町田行弘の7名です。宮部さんの奥さんは、脚の治療のため、郡山へ出かけたということ。

7時20分の電車を出発しようと考えていたところ、踏切事故で電車が遅れているとインフォメーションがでていましたので、7時5分の電車に乗ることにしました。町田駅を出てすぐにアナウンスがあり、踏切事故のため、本厚木から先が不通、しかも、復旧にはかなり時間を要するようです。第1のアクシデント。どうしよう？相模大野駅に到着し、ここで下りて、藤沢へ出て、東海道線に乗ることにします。“小田原までの料金は払い戻してくれるだろう。払い戻しに関してトラブルようなら、捨てればいいや。とにかく、沼津に到着しなければ。”と考えていると車内放送で小田原へ向かうお客さんは、東海道線で振り替え輸送をするので、振り替え切符を改札で受け取るようにということ。これで、小田急線の料金の小田原まで行くことができます。

藤沢駅でJR東海道本線に乗り換えます。8時1分の沼津行きに乗ります。この電車は小田原発が8時38分、前回は小田原発8時18分でしたから約20分のロスタイムですみました。沼津到着は、9時25分。前回はここから、歩いて香貫山から上り始めたのですが、今回は、山口道までバスで行き、逆コースとしました。西武百貨店前のバス乗り場から「大平」行きのバスに乗り約25分、「山口道」バス停で下車します。



## 登山口を間違える

まさに、のどかな(のどかすぎる)田園風景、あたり一面田んぼです。稲の緑がまだまだみずみずしく、9月になったとはいえ夏を感じます。小高い丘というかちょっと大きな古墳群といった感じでそびえる山を目指して、田んぼの中の道を歩いて行きます。途中の標識に「山口峠登山口」直進、「多比峠登山口」右折とあったのを覚えていますか？私たちは直進しました。これが第2のアクシデントでした。町田も「多比」という言葉から発想するのは海沿いのバス停で、「山口」からは海の反対のイメージがあったのです。あとでよく考えれば、「多比峠」から大平山を登らずに鷲頭山に向かうのですから、右折するべきでした。



## 反対方向を目指して

誰も何も疑わないまま、山口峠へ向かって登り始めます。沼津アルプスにしては少々荒れた感じの登山道だと思いながら、なんとなく頭の中では、沼津港の寿司屋があったりして...。早く見慣れた場所に着かないかなあ。

うっそうとした林の中を登り切った所の右手に大きな岩があり、「大平会」とペイントされていました。そこからは富士山







がきれいに眺めることができました。今、歩いて来た道もはっきり確認できます。その岩の先には怪しげな梯子が顔を出していました。先頭を歩いていた宮部さんと横山さんはすでに道なりに先を歩いて行きました。道なりはやや左方向で「奥沼津アルプス」という標識に従ったわけです。後で思えばこれが第3のアクシデント。



## 沼津アルプスで遭難なんて

その後、この道は大人のアスレチックワールドのような楽しさがありました。はしがあったり、岩を登ったり下りたり、さらには「上級者コース」なんていう標識に心をくすぐられ遊んでいたのですが、バス停から55分で「多比口峠」のはずが1時間を過ぎても見覚えのある場所に着きません。どうもおかしいと気づいたのは「新城橋バス停」という標識を発見したときでした。小野さんに「コンパスありますか?」「いや今日は持って来なかった」迷ったのならその場所まで戻るのか賢明です。どこで間違えたのか探しながら戻ります。上級者コースとそうでないコースがありましたが、私たちが来たのは上級者コー



ス、ここを戻ります。戻って行くと、富士山を眺めた岩の上に出ました。ここだ！山口道から沼津アルプスに行くのならバス停からの進行方向「右」に進まなければいけないのに、ここで左方向に歩いていました。岩の上から見えるはしごを下りて、先を走ります。かなり急で荒れた登り道、しかも目指しているのは、ショーカットするはずだった大平山なのです。

## スタート地点より手前で昼食

やっとの思いで到着した「大平山」、見覚えがあります。前は、ここで笑ったのです。今回はここで溜息をつきました。時刻は12時過ぎ、ここで昼食とします。こうなると、水は貴重品です。お湯を沸かしてカップラーメンというのも考えもの。小野さんは、お湯を沸かしてカップラーメンを昼食としていましたが、町田は、あきらめました。4リットル持ってきた水はすでに半分となっています。加藤さんが持ってきて分けてくれたプチトマトがおいしい。



## 疲れて転倒者続出

大平山を下り始めてすぐ、町田がバランスを崩して転倒します。その際、右手に持っていたデジタルカメラを破損。第4のアクシデント。写真撮影はここまできなりました。その後も転倒者続出です。加藤忠さんも下りで頼りにつかんだ木が折れ転倒。小野さんも足を滑らせて転倒。みんな疲れが出ています。

鷲頭山へ向かう登りの途中で、加藤純代さんが、単独休憩。エスケープルートを考える必要に迫られました。ガイドブックでは、鷲頭山を登り、少し下って小鷲頭山を登り、志下峠で下ると良さそうなのです。志下坂峠まで行って下るのは道が荒れていて危険ということ。小鷲頭山を下っているとハイカーが登っ





て来ました。彼にエスケープルートを尋ねると、「下りきった所から、左に行けば、セブンイレブンに出ることができますよ」

## 不安なエスケープ

志下坂峠で左にエスケープルートを進みます。荒れたエスケープルートではないとはいえ、十分荒れていて、蜘蛛の巣だらけ。蜘蛛の巣と植物を掻き分けるようにして歩きます。道があるのだろうか？これが道か？と思いながらも頼りは、耳に聞こえてくる車の音なのです。車道が近づいてきて下っていれば問題はありません。遊びすぎて夕闇から逃げて帰る子供のころを想い出させるような道です。

## 目的は達成された！？

ようやく細い舗装路に出て、ちょっと怖かったエスケープルートが終わりました。目の前にセブンイレブンが現れるものと思っていたのでちょっとガッカリと同時に、さっきのハイカーが言っていた道を下りて来たのか不安になりますが、下山できたのは確かです。とにかく、海に向かって歩けばバス通りがあって、バスに乗って沼津港を目指せばいい。足早に歩いて行くと、あったあった「セブンイレブン」！そしてそこには「酒」のマーク。とびらを突き抜けて冷蔵庫の缶ビールへ。喉を潤していると、バスがやってきましたが、ビールの通過が間に合わず、見送ることにします。次のバスは3時25分。約10分遅れでバスが到着しました。沼津港への最寄りのバス停は「ダイハツ前」。バスを降りて歩くこと約15分で「魚河岸寿司」に着きました。午後4時、待つことなくテーブルに着席し、生ビールで乾杯！



実はここでもアクシデントが…。ビールのつまみにと、つついサイドメニューを摂りすぎて、最終目的のお寿司がもう入らない！でも、海鮮かき揚げやまぐろのかぶと焼きは安くて（どちらも600円）すごいボリュームでした。

また、行こう！「沼津アルプス」なのか「魚河岸寿司」なのか？







町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
河合稔	194-0000	東京都町田市下小山町 2979-2 042-797-1611
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662

